

- ◆ 東京財務事務所では、当所の業務や財務省・金融庁の施策を、タイムリーかつより分かりやすく伝えるため、財政及び金融知識普及にかかる広報・広聴活動に注力。
- ◆ 講演先のニーズに合わせて、税務署・年金事務所へ連携を呼びかけ、協働でコラボレーション講義を実施。
- ◆ 当所の得意とする「財政」の講演に、「税金」「年金」「金融経済教育」等をセットで提供することで、より理解が深まると好評。
- ◆ 更に、コラボ先(年金事務所)から、当所では未開拓の高等専門学校を紹介される等、相互連鎖的に広報先拡大中。

1. 成果事例の概要等

○東京財務事務所では、「財政」「金融」に関する講演等に注力し、広報活動を実施。  
○そうした中、日本女子大学において、財政及び金融リテラシーに関する出前講座を実施したところ、講義後、「財政の話は、税金、年金とは切り離せないもの。次の機会には『財政・税・年金』をひとまとめにした講義を実施してほしい」との要望を受けた。



○そこで、将来を担う若者世代が、財政の現状、税金や年金の仕組みを理解し、自分たちの問題として社会保障のあり方等について考えていくことができるよう、大学側のニーズを聴取しながら、税務署・年金事務所と協働を呼びかけ、コラボレーション講義を企画。3者連携して、社会保障制度等に関する講義をパッケージで実施。

【日本女子大学における3者コラボ講義実施までの流れ】



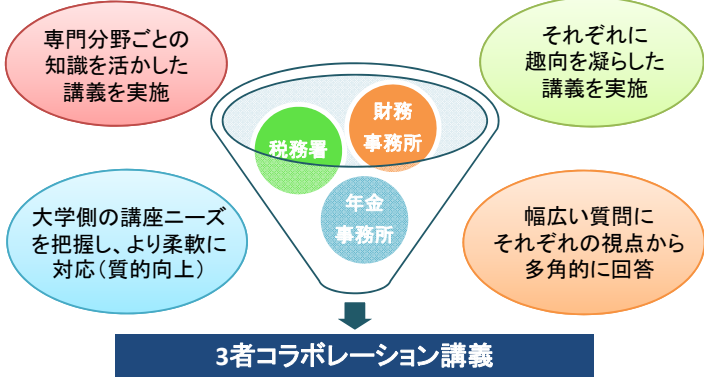
○高等学校、高等専門学校でもコラボ講義を実施。平成29年度も継続予定。

- 【コラボ講義構成の一例】
1. 東京財務事務所
    - ・日本の財政について考えよう
    - ・金融リテラシーって？
  2. 麹町税務署：所得税のしくみ
  3. 文京年金事務所：年金のしくみ
  4. 私たちのしごと(各機関から採用案内)



2. これまでの取組の成果等

○3者コラボレーション講義の成果

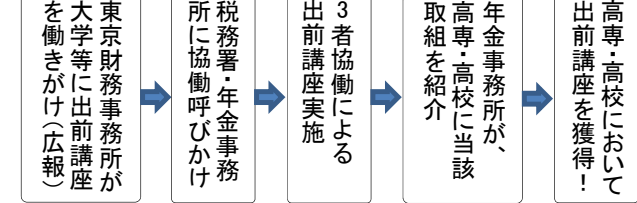


【講義を受講した生徒の感想】  
・税金や年金、財政の関係性がわかった。  
・広い視野で社会全体の仕組みを理解することが大切だとわかった。  
・税金の使い道について関心を持っていきたい。

【学校側(教授等)の感想】  
・コラボ講義を展開してもらうことで、授業計画に組み込みやすくなった。  
・各官署等との打ち合わせも、窓口が一つになったおかげで負担がなくなった。

○3者がそれぞれの既存広報先、開拓先等を共有することで相互連鎖的に広報先を拡大。

【連鎖的な広報先拡大の例】



連携により、広報先が連鎖的に発展



3. 今後の課題と東京財務事務所の対応

- ＜今後の課題＞
- 質・量共に拡大した広報先に対応する講師陣の育成・充実。
  - 更なるニーズへの対応に向けた連携先の開拓。
- ＜東京財務事務所の今後の対応＞
- 新たに、警視庁との連携も展開予定。引き続き、各官署等との連携を強化するとともに、ニーズに合わせた講義や研修を実施していく。



講師育成のため、職員研修を実施